

めくるめく四季の移ろいに心ときめく



春、前田川の川辺につくしの子が顔を出して、
双葉町の春が始まります。
十万山山ろくの木々は青々と芽吹き、
野鳥のさえずりが自然の早春譜を奏でます。
夏、青い空から限りない太陽の恵みがふりそそぎ、
田園や公園の緑は深みを増して、
太平洋から吹く風に揺れながら、
せんだん通りにやすらぎの木陰をつくります。
秋、稲穂の海は黄金色に波立ち、
十万山の山肌や七日沢の溪流は
葉を紅くして秋の装いを凝らし、
人々の瞳に巨大な風景画を焼きつけます。
冬、町役場の広場に落葉が舞い、
農家の軒先には柿や大根が並び、
みちゆく人に冬の訪れと自然の恵みを感じさせます。

四季を映す美しい自然につつまれて